



全国中学校剣道大会

8月21日～23日 富山市西部体育センター

7月26日、27日に行われた茨城県総体剣道大会で男子個人の部で藤田涼平さん（下館南中3年）、女子個人の部で藤田絢子さん（下館南中2年）がそれぞれ優勝し、富山県で開催された全国大会に出場しました。

男女とも96人が参加した個人戦では、2人とも3回戦を突破、見事ベスト16入りを果たしました。涼平さんは、「インターハイで優勝」、絢子さんは「個人、団体とも日本一」と今後の目標を熱く語ってくれました。

全国中学校ソフトボール大会

8月17日～20日 富山市岩瀬スポーツ公園

関東大会を勝ち抜いた明野中は、富山県で開催された全国大会に出場。初戦では、強豪・上八万中（徳島県）と対戦。善戦しましたが、4対1と敗れてしまいました。

第36回 関東中学生ソフトボール大会

1回戦

明野中 17 - 0 両国高附属中（東京都）

2回戦

明野中 0 - 3 新島学園中（群馬県）

代表決定戦

明野中 7 - 4 下妻東部中（茨城県）



ASKスポーツクラブ館西会員募集中

いつでも

どこでも

だれもが

気軽に

女性フットサルチームの会員

対象：小学3年生以上、中学生、高校生、一般の女性

日時：10月8日（水）、13日（月）、30日（木）午後7時から

場所：下館総合体育館

スポーツ広場の参加者

どなたでも参加できるバドミントン、卓球、ソフトバレーボール、バランスボール等の軽スポーツを行なっております。

日時：10月5日、19日、11月2日、16日の各日曜日 午前9時から12時

場所：川島小学校体育館

クラブ年会費：小・中学生 4,000円
高校・一般 5,000円

必要品：体育館用シューズ、運動のできる服装

申込み・問い合わせは

ASKスポーツクラブ館西事務局

TEL 28-5040（下館総合体育館内）



子供からお年寄りまで
楽しめる生涯スポーツ
パークゴルフ

国際パークゴルフ協会
公認36ホール



下館パークゴルフ場

ザ・ヒロサワシティ フーフォイパーク
筑西市茂田 TEL.0296(22)4189



一区画30㎡で
300区画の
貸農園。家族連れ
で一日中ゆっくり
楽しめます。

農事組合法人

広沢農園・貸農園

ザ・ヒロサワシティ
筑西市茂田 TEL.0296(24)5888



ウェア・小物類
も取り揃えて
おります。

ハーレーのご試乗は手ぶらでOK!!

ハーレーダビッドソン下館

www.hirosawa-shoji.co.jp

筑西市横島766-2 TEL.0296(21)1180

子どもたちに自然とのふれあいを

8月8日から10日まで、筑西市子ども会育成連合会関城支部（飯田栄一会長）主催の「まほろばクエスト2008」が開催され、72人の小中学生が参加。国立那須甲子青少年自然の家での子どもたちの様子を同行取材してきました。

まほろばクエストとは

旧関城町子ども育成会は、子どもたちの豊かな心を育てるという目的で活動。自然とのふれあいを幹部講習会と称して、真壁キャンプ場で実施していましたが、子どもたちにより多くの自然体験をさせるには、設備の整った施設が理想であると、当時の谷口精四郎会長や教育委員会事務局が判断し、平成3年からは国立那須甲子青少年自然の家で実施しています。その折、もっと呼びやすい名称にと、古記事の中の「大和の国はまほろば」という言葉と、大自然の中で思いっきり冒険（クエスト）するを併せ、年号を加え現名称になりました。

国立那須甲子青少年自然の家は、福島県西郷村にある山で囲まれた静かなところ



箱守まり子さん（関館）

★芸術、スポーツいろいろな秋があるけれど、メタボ気にしつつ1年中が食欲の秋の私。ただ今「横に成長中」

ろです。

広大な敷地の中には宿泊棟をはじめ、環境学習棟、自然館、プレイホール、ワンパクルームなどの建物が点在し、囲むようにある林の一角には炊飯小屋や薪小屋、キャンプ場が備えられています。また、林の中は遊歩道も整備されており自然観察や沢歩きのコースとしても利用されています。また、冬にはスキー合宿にと、一年を通して利用できる設備が整っています。とくにプレイホールには、大きな排煙機が取り付けられ、屋内でキャンプファイヤーを楽しむこともできます。

いろいろな体験が出来ます

関城支部では、今回まほろばクエストに参加した子どもたちにできるだけ多くの体験活動をさせたいと検討を重ね、1日目 キビタ沢にてイワナつかみ、野外炊飯（カレーライス）、ナイトハイイク（自然の家敷地） 2日目 朝の集いに参加、焼き板づくり、キャンプファイヤー 3日目 沢歩き（阿武隈川沿い）、牛の乳搾り（千本松牧場）のプログラムを組



▲自然体験を満喫する子どもたち

みました。

中学生を中心に10班に分かれた子どもたちはスタッフに支えられながら、果敢に挑戦していました。なかでも、沢でのイワナつかみでは着ている服を濡らしながら夢中でおいかけたり、牧場では大きな牛のお乳を恐々と掴み、お乳が出たときの驚きと感動はいうまでもありません。出発の朝、ちよつと不安そうだった子どもたちが家族の待つ駐車場でバスを降りる時にはたくましくも見えました。いろいろな事に自ら挑戦し、最後まで成し遂げた喜びと自信が大きく育んだのではないのでしょうか。

HITACHI

驚きを実現へ

Hitachi Chemical
Working On Wonders

エレクトロニクス関連製品

機能性材料関連製品

住宅機器・環境設備

